

【校訓】

かしこく
なかよく
たくましく

学校だより

鹿児島市立吉野東小学校

令和5年10月26日発行 No.6

本は知識の根本

校長 下松勝浩

いよいよ来週から読書月間が始まります。司書の江口先生や図書委員会の子どもたち、読書ボランティアのみなさんが、楽しい企画を考えているようです。

ある、調査では小学生の一カ月の平均読書冊数は約3冊とありました。本校の子供たちは、一カ月に10冊以上の本を借りているようですので、よく読んでいる方だと思っています。

本は文字で綴られています。一冊の本になるとどれくらいの文字数になるか、校長室にある文庫本をもとに計算してみました。1ページあたり約700文字。1冊あたり約200ページだとすると約14万文字程度になります。小さな1冊の本に綴られたたくさんの文字、その文字が伝えてくれる様々な知識や情報、新しい世界、不思議な世界…1冊の本は、何にも代えがたい宝箱のような気がします。東海学院大学教授アンドリュー・デュアー氏は、読書のもたらす恵みを14挙げています。

- ①子供の語彙が大幅に増える。
- ②言葉と読解力が発達する。
- ③学力が高まる。
- ④想像力と集中力が鍛えられる。
- ⑤性格が人の気持ちを考えるように形成される。
- ⑥感情や感性が発達する。
- ⑦社会性が発達する。
- ⑧人の気持ちが読める共感力が成熟する。
- ⑨文脈理解力が鍛えられる。
- ⑩経験の拡張ができる。
- ⑪悩みを解消する力が身につく。
- ⑫進路のヒントが得られる。
- ⑬親などとの絆が深まる。
- ⑭時間を楽しく過ごせる。

※東京都教育委員会「未来を支える読書」>読書のすすめ「本を開いて、未来も開く」から

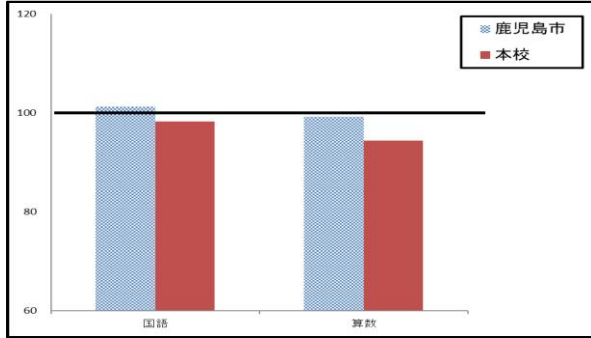
「木」と言う漢字の根元に印をつけたものが「本」という字の成り立ちだそうです。「木の根本」と書いて『根本（こんぽん）』、物事がそこから出発して成り立っている、いちばん大切なもとという意味です。本を使った言葉には「本物、本当、本質、手本、見本、基本」など、大切なものを表す意味をもつものがたくさんあります。1冊の書籍を「本」というのは、本が私たちの「知識の本（もと）」「生き方・考え方の本（もと）」となるからです。

LINE や YouTube に夢中な子どもたちも多く、放っておけない状況になりつつある中、「本を読む子どもを育てるにはどうしたらいいでしょうか」と悩まれているご家庭も多いのではないのでしょうか。まずは、本のある環境を作ることだと思います。リビングやダイニング、いたるところに本が置いてあると自然に手に取る機会も増えるでしょう。そして何よりも、私たち大人が、よい見本となることです。自分たちが楽しく読んでいる姿を子どもに見せることが何よりも効果的だと思います。（ちなみに、私のおすすめは、センテラスの図書館です。コーヒーを飲み、たまごサンドを食べながら、好きな本を読む時間は、至福のときです！）

11月の読書月間をきっかけに、楽しい読書の時間をみんなで過ごしましょう。



全国学力・学習状況調査結果について



	国語	算数
全国	67.2	62.5
鹿児島市	67	61
本校	66	59



4月に、6年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

本校の国語と算数の平均正答率は共に、全国・市のそれを下回る結果となりました。この調査で判明した吉野東小の子供たちの学力の課題としては、国

語では、条件に合わせて書くことに課題が見られました。字数制限や文章に書かれている言葉を使うなどの条件のある文を書く際には、資料から得た情報を適切に関連付け、根拠となる記述を基にして自分の考えを書き、文章を組み立てることができるような指導を行っていきます。また、漢字の書き取りでも誤答が見られました。対策としては、新出漢字を学習する際に反復練習と並行して、日常の文章を書く活動の中で漢字を使う習慣形成を図ることも必要だと思われます。算数では、数量関係や図形の構成、割合の意味や計算、表し方について課題がありました。これらの内容については、確実に基本的な用語やその意味、実際の計算まで習熟を図るようにしていきます。生活に根差した問題にも数多く当たるようにしていき、身近な場面で学習したことが使われていることを子供に認識させていきます。家庭でも、学習した内容についての「生活化」について意識することで、深い内容理解につながっていくと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

集団宿泊学習【5年】

9月25日(月)～26日(火)に5年生の集団宿泊学習が行われました。宿泊・生活・活動を通して、自主・自立の精神を培い、ふれあいを深め、信頼関係を確立したり、公共施設の集団での利用の仕方を身に付けたり、野外活動を通して自然を大切にする態度を育んだりしました。特に、施設内のオリエンテーリングでは、広場を駆け回り友達と協力し合う姿が見られました。5年生にとって、貴重な活動となり、思い出をつくることもできました。



出前授業、学校支援ボランティア、地域の方に支えられています



2学期は、1学期にも増して、外部人材の活用が進み、出前授業の実施や保護者による学校支援ボランティア等の活動が活発になってきました。具体的には、家庭科、生活科、社会科等で子供たちへの指導補助を行ったり、図書室で新刊本の受入れや本の修繕を請け負ったりしています。こうした様々な支援活動は、子供たちにとって大いに刺激になり、新しい学びにもつながっていきます。今後もこうした外部人材の活用積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

【今後の主な行事予定】

【10月】

26日(木) 小中連携研修会…全学年5時間授業

【11月】

☆人権月間・読書月間 ～11/30

1日(水) 地域が育む「かごしまの教育」
県民週間

2日(木) 就学時健康診断…全学年4時間授業

8日(水) 6年生陸上記録会

13日(月)～14日(火) 6年生修学旅行

14日(火) 4年生社会科校外学習

15日(水) 3年生社会科校外学習

16日(木) 2年生生活科校外学習

22日(水) 学級PTA(特別支援学級)

28日(火) 持久走大会・学級PTA(中学年)

29日(水) 持久走大会・学級PTA(低学年)

30日(木) 持久走大会・学級PTA(高学年)

市音楽発表会(4年)